



くぬぎ便利

第10号

あつぎこどもの森クラブ「植生モニタリング」の活動報告

里山を利用して作られた「あつぎこどもの森公園」における植生の現状を平成 29 年 4 月から調査してきた。その変遷を記録して生物多様性にどのような影響がもたらされるかを把握するのが目的である。併せてこの地域の植生がその場の気候や水分・地史・地質などの条件とともに、人為的インパクトの質や量も反映することをデータで記録する。また、調査するためには、調査地域をくまなく歩かなければならないので、調査者はおのずと地域全体を俯瞰する目を持つことができるのも副次的な効能となる。(自然プロジェクト 横山克己)

モニタリングは園内を下図の A,B,C,D の 4 ルートに分けて毎月定期的に調査し、植生の変化を記録した。
 参考文献：(財)日本自然保護協会「モニタリングサイト1000里地調査、植物相調査(概要版)」
 環境省「モニタリングサイト1000」植生調査の方法



あつぎこどもの森公園における主たる植物の開花状況

調査区域：主園路～ムササビの道～クヌギの丘～空中回路～コナラの丘～作業棟～田んぼ～エノキ広場

調査期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

調査者：長岡、菅、飯野、横山、他

調査方法：原則毎月一回第二金曜日 9 時から予め決められたルートを歩く。(原則として道の両側から10mが対象)

調査ルート上で確認された植物の種名と有性繁殖器官(蕾、花、実、孢子)を記録する。

同定の困難なグループ(シダ植物、イネ科、カヤツリグサ科など)は原則除いた。

No	種名	月														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	アカショウマ		B	○												
2	アカネスミレ	○														○
※	3	ウグイスカグラ	○										○	○		○
4	ウマノアシガタ	○	㊦													
5	オカタツナミソウ		○													
6	ウラシマソウ	○	△	△	△	△										
7	カキドオシ	○	△											○		○
8	キジムシロ	○	㊦											○		○
※	9	キブシ	○	△	△	△	△B	△B	△B	△B	B	B	B	B		○
10	キランソウ	○	○													
11	キンラン		○	△												
12	ギンラン		○	△	△											
13	クサイチゴ	○	㊦	△												○
14	コウゾリナ	B	○	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦						
15	ジュウニヒトエ	○	○													
※	16	シュンラン	○										B	B		○
※	17	スイカズラ		○	○											
※	18	ツボスミレ	○													
※	19	バイカウツギ		○	㊦											
※	20	マルバアオダモ		○	㊦	△										
※	21	ミズキ	B	○	△	△	△	△								
22	ムラサキサギゴケ	○	○													
23	ヤマハタザオ		○	㊦												
※	24	ヤマブキ	○	△	△	△	△	△								
※	25	ヤマボウシ		○	○											
26	オカラノオ				㊦	㊦										
27	オトギリソウ				○	㊦	㊦	㊦								
28	オトコエシ				○	㊦	㊦	㊦	㊦	△						
29	アキノタムラソウ				○	㊦	㊦	㊦								
※	30	テイカカヅラ			○											
※	31	ニシキウツギ			○	○	△	△	△							
32	ネジバナ			○	㊦											
33	フタリシズカ			○	△											
34	ホタルブクロ			B	○	㊦										
35	ヤブカンゾウ				○	○										
36	ヒヨドリバナ				○	○	○									
37	アキカラマツ						○	○	㊦							
※	38	オオバウマノスズクサ					○	△	△	△	△					
※	39	キハギ					○	○	△	△	△					
40	クズ						○	㊦	㊦	△	△	△	△	△	△	
41	センニンソウ						○	㊦	△	△	△					
42	ツルニンジン							B	○	△	△					
43	ツルボ						○	㊦								
44	ヒヨドリジョウゴ				○	○	㊦	㊦	㊦	△						
※	45	マキエハギ					○	○								
46	マツカゼソウ						○	○	○	○	△					
47	ミズオオバコ						○	○								
48	ヤクシソウ							○	○	㊦	㊦					
49	ヤマハッカ								○	△						
50	ヤマホトギス							○								

記号の説明(○:開花株、△:種子 ㊦:花と種子、B:蕾、※:木本)

調査結果(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

「あつぎこどもの森公園」のA、B、C、D(表書き別図参照)の4地区で合計約 410 種が観察された。種子植物が主であり、イネ科、カヤツリグサ科、シダ植物については同定が困難なため今回は限られた種のみ観察対象となった。年間を通して多数の植物が生育していることや、①外来種が少しずつ増加している(セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、アメリカスズメノヒエ等)②埋土種子(seed bank)が復活(ミズオオバコ他)したこと、③貴重な水生植物が多数存在していること(ミズニラ、オニスゲ、イトモ、ウリカワ、イチヨウウキゴケ等)、④荻野の里山には当然自生していたと思われるヤマユリの開花株が無かったこと(野生動物による捕食と人による乱獲が原因と思われる)などがわかった。

4地区の主な植物

A地区:管理棟～中央園路～ムササビの道入口

「あつぎこどもの森公園」中央園路に至る切通しは整備工事後には主として富士・箱根や遠く鹿児島始良火山の噴火によるむき出しの堆積土であったが開園後 2 年で 100 種類以上の植物が自然に叢生した。自然治癒力には驚かされる。この地区は風の通り道になっており、多種類の植物種子が主として風により運ばれたと思われる。当初はダンドボロギク～セイタカアワダチソウの天下であったが、現在はその勢いが若干衰えつつあり、替わってススキ、ヤナギ類などが徐々に増加している。

○主な植物:アカシデ、ウラシマソウ、エゴノキ、オトギリソウ、キランソウ、イヌコリヤナギ、オノエヤナギ、ニシキウツギ、マキエハギ、スギ、ヒノキ、オカラノオ、ヤクシソウ、コシオガマ、ヒヨドリジョウゴ、ホタルブクロ、センニンソウ、コモチシダ等(約 171 種)



ホタルブクロ(6月)



マキエハギ(9月)



センニンソウ(9月)



ヤクシソウ(10月)

B地区:ムササビの道～クヌギの丘

杉木立の下床とやや加湿気味の低草地と山道で最後に広い草地に至る変化に富んだ地区。「クヌギの丘」は早春にチガヤの群生地となり、やがてワラビなども多数見られる。クリ、ゴンズイ、イヌシデ、ミズキなどの開花が印象的である。

○主な植物:アカショウマ、ウラシマソウ、ガマズミ、キランソウ、センダン、ツボスミレ、ツルニンジン、ツルボ、ネコハギ、ネジバナ、ヒヨドリバナ、ホタルブクロ、ホトギス、マコミ、ヤマネコノメ、ヤマハタザオ、シュンラン、コバノカモメヅル等(約 183 種)



シュンラン(4月)



ツルボ(9月)



ツルニンジン(10月)



コバノカモメヅル(10月)

展望:「あつぎこどもの森クラブ」でモニタリングを実施していることをより多くの会員や他の方々を知っていただき、①植物・昆虫などの名前を知ることや、②「あつぎこどもの森公園」の自然を観察しながら、後世に守り育てていく活動に多くのお仲間が参加して下さることをお待ちしております。 問い合わせはあつぎこどもの森クラブ迄。

C地区:空中回廊～コナラの丘～作業棟

空中回廊から木の目線で見下ろす観察ができる。目を閉じてじっと耳を澄ませば野鳥の声が頭上から降ってくる。木の葉や幹の香りが楽しめる。そっと樹皮に触れて樹種による異なる感覚やひんやりとした木の肌を実感しよう。樹林を彩る木々の花や野草の開花も楽しめる。

○主な植物:アカショウマ、ウグイスカグラ、オオバウマノズクサ、キンラン、ギンラン、クマヤナギ、クロモジ、シュンラン、フタリシズカ、フデリンドウ、ヤマボウシ、ヤマホトギス、ヤマドリソウ(約 114 種)



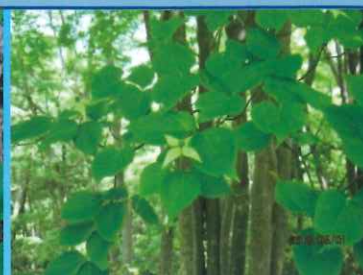
オオバウマノズクサ(4月)



キンラン(5月)



ギンラン(5月)



ヤマボウシ(7月)

D地区：東入口～作業棟～田んぼ～エノキの広場～空中回廊の残り

4 地区の中で一番植物の種類が多いのは、草地・湿地・ため池・斜面など多様性のある環境を有しているからだと思われる。1 年中水流が絶えることのない 2 本の細流(南・北)に挟まれた湿地や田んぼで復活した水草。竹藪、山地から浸みだし湧水で常時じめじめとした草地などにはミズオオバコ、ミズニラ、オニスゲ、イチヨウウキゴケ、イトモなど貴重な野草が観察できる。早春にはアカネスミレが濃紫の可愛い花を咲かせる。

○主な植物:アカシデ、アカショウマ、アカネスミレ、アキノタムラソウ、ウグイスカグラ、ウマノアシガタ、オカタツナミソウ、オトギリソウ、ガガイモ、カキドオシ、キハギ、キランソウ、ギンレイカ、コケオトギリ、コモチシダ、ジユウニヒトエ、シラスゲ、センニンソウ、タツナミソウ、ツボスミレ、ツルボ、ノアザミ、バイカウツギ、ヒヨドリジョウゴ、ホタルブクロ、ホトギス、マツカゼソウ、マルバノホロシ、ムラサキサギゴケ、ヤブカンゾウ、ヤマネコノメソウ、ヤマハタザオ、ヤマハッカ、ヤマホトギス、リンドウ(約 211 種)



キジムシロ(3月)



バイカウツギ(5月)



ミズオオバコ(8月)



リンドウ(11月)

※ABCD 各地区の合計(679 種)が全地区の合計約 410 種に合わないのは各地区に共通して生育している植物が多数あるからである。

イベントの日程・内容は天候などの影響で、直前に変更になる場合があります。参加前に必ずホームページなどで確認してください。またモニター調査員の申し込みも

下記あてに連絡ください。

電話：046-210-3433

受付時間:10月から翌年3月 9:00～16:00

メール：atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP：<https://atsugikodomonomori.com>

くぬぎ便り 第10号

発行：2018年10月25日

編集 製作：あつぎこどもの森クラブ 広報

発行責任者：長岡 恂

事務局：〒2433-0202 神奈川県厚木市中荻野916-2

(管理棟)

☎ 046-210-3433